

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人津久見市社会福祉協議会

令和4年度事業報告

◆事業概要

人口減少、少子高齢化に加え、認知症高齢者や一人暮らし高齢者の増加、コロナ禍による生活課題の顕在化など、個人や世帯が抱える生きづらさが複雑化・多様化してきています。このような中、制度や分野ごとの縦割りを見直し、個人や世帯が抱える課題を包括的に対応する体制づくりや、従来からの担い手、支え手という関係性のみではなく、地域住民や様々な団体・企業などが参画し、それぞれの強みを活かしてつながることで、共に地域づくりを進めていく「地域共生社会」の実現が求められています。

津久見市社会福祉協議会（以下「社協」という）では、多様な生活課題を抱える住民の社会的孤立を防ぎ、誰もが社会参加できる地域づくりを進めるため、地域住民や関係機関と連携・協働し、行政とパートナーシップを図りながら「人とひとが福祉でつながるまちづくり」を進めるため、地域のつながりを深める福祉活動に取り組みました。

1. 法人運営の基盤整備

①理事会及び評議員会の開催

社協の運営・経営管理上の重要事項や適切な事業執行・基本方針等の決定を行うため、理事会及び評議員会を開催しました。開催状況は、下記のとおりです。

<理事会>

第1回 令和4年5月30日

議決事項

- 評議員選任解任委員の選任について
- 評議員候補者の選出並びに評議員選任解任委員会の開催について
- 給与規程の一部改正について
- 指定相談支援事業所「サポートセンター竹とんぼ」運営規程の一部改正について
- 令和3年度事業報告について
- 令和3年度一般会計収支決算報告について
- 令和4年度第1回評議員会の開催について

第2回 令和5年3月9日

議決事項

- 理事の補充について
- 監事の選出について
- 評議員候補者の選出及び令和4年度第2回評議員選任・解任委員会の開催について
- 令和4年度第2回評議員会の開催について



第3回 令和5年3月17日

議決事項

- 就業規則の一部改正について
- 給与規程の一部改正について
- 役員等賠償責任保険契約について
- 令和4年度一般会計収支補正予算について
- 令和5年度事業計画について
- 令和5年度一般会計収支予算について
- 会長の選任について
- 令和4年度第3回評議員の招集について

<評議員会>

第1回 令和4年6月28日

議決事項

- 給与規程の一部改正について
- 指定相談支援事業所「サポートセンター竹とんぼ」運営規程の一部改正について
- 令和3年度事業報告について
- 令和3年度一般会計収支決算報告について

第2回 令和5年3月17日

議決事項

- 理事の選任について
- 監事の選任について



第3回 令和5年3月27日

議決事項

- 職員就業規則の一部改正について
- 給与規程の一部改正について
- 令和4年度一般会計収支補正予算について
- 令和5年度事業計画について
- 令和5年度一般会計収支予算について
- 津久見市社会福祉協議会福祉サービス等改善向上委員会委員の選任について

2. 財源の確保

①会員制度の推進と寄付金について

社協の重要な財源の一つが、市民の方々などから寄せられた会費や寄付です。こうした財源は、社協が民間組織として活気ある運営と事業の推進に欠かすことのできないものです。この財源確保に向け、より一層の理解と協力を得られるように努めました。

過去15年間の会員数の状況

年 度	住民会費 (500円/口)	賛助会費 (2,000円/口)	施設団体会費 (5,000円/口)	特別賛助会費 (5,000円以上)
平成20年度	7,126世帯	75事業所	18施設・団体	24名
平成21年度	7,051世帯	79事業所	20施設・団体	22名
平成22年度	6,869世帯	74事業所	21施設・団体	22名
平成23年度	6,910世帯	75事業所	22施設・団体	20名
平成24年度	6,838世帯	74事業所	21施設・団体	15名
平成25年度	6,778世帯	76事業所	18施設・団体	18名
平成26年度	6,578世帯	72事業所	22施設・団体	15名
平成27年度	6,595世帯	72事業所	23施設・団体	15名
平成28年度	6,481世帯	70事業所	23施設・団体	4名
平成29年度	6,388世帯	73事業所	24施設・団体	2名
平成30年度	6,307世帯	89事業所	24施設・団体	2名
令和元年度	6,186世帯	81事業所	22施設・団体	2名
令和2年度	6,128世帯	81事業所	25施設・団体	2名
令和3年度	6,078世帯	77事業所	21施設・団体	2名
令和4年度	5,980世帯	81事業所	23施設・団体	2名

過去15年間の香典返し・寄付金の状況

年 度	香典返し寄付	一般寄付
平成20年度	5,075,000円	103,560円
平成21年度	5,040,000円	244,852円
平成22年度	4,833,000円	295,458円
平成23年度	4,735,000円	302,908円
平成24年度	5,480,000円 (242件)	1,134,844円 (金銭742,244円、物品392,600円)
平成25年度	4,515,000円 (219件)	353,410円 (金銭260,027円、物品93,383円)
平成26年度	4,426,000円 (219件)	384,072円 (金銭63,272円、物品320,800円)
平成27年度	3,460,000円 (185件)	353,981円 (金銭37,981円、物品316,000円)
平成28年度	3,227,000円 (162件)	267,575円 (金銭220,943円、物品46,632円)
平成29年度	2,496,000円 (140件)	1,403,119円 (金銭113,231円、物品1,289,986円)
平成30年度	2,133,000円 (141件)	152,187円 (金銭144,448円、物品7,739円、)
令和元年度	2,300,000円 (156件)	194,935円 (金銭181,975円、物品12,960円)

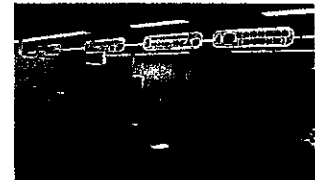
令和2年度	1,909,000円 (144件)	236,793円 (金銭236,793円、物品0円)
令和3年度	2,273,000円 (163件)	195,625円 (金銭175,165円、物品20,460円)
令和4年度	1,763,000円 (134件)	203,375円 (金銭190,375円、物品13,000円)

使途指定寄付金

年度	寄付金額	備 考
平成29年度	384,770円	災害ボランティアセンター運営のため
平成30年度	100,000円	障がい者福祉の増進のため
令和元年度	0円	
令和2年度	80,000円	フードバンク事業の運営のため
令和3年度	0円	
令和4年度	0円	

3. 保健福祉ゾーン構想の推進に伴う総合相談窓口の充実

津久見市の保健福祉ゾーン構想の一翼を担い、保健福祉に関する相談窓口の一元化を推進しました。



① 24時間365日対応総合相談窓口事業

○ 土日祝日・夜間等に対応した相談等の実績

期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

部署	平日 夜間早朝 18:00~0:00 6:00~8:00	平日 深夜 0:00~6:00	土日祝祭日 日中 8:00~18:00	土日祝祭日 夜間早朝 18:00~0:00 6:00~8:00	土日祝日 深夜 0:00~6:00	相談件数 合 計	対応内容		
							電話による 相談対応	現場に て、緊急 対応	問い合わせ・ 連絡調整
地域班 (前年度)	12件 (16件)	0件 (0件)	33件 (28件)	6件 (3件)	1件 (1件)	52件 (48件)	17件 (20件)	2件 (0件)	33件 (28件)
竹とんぼ (前年度)	3件 (12件)	0件 (0件)	6件 (9件)	1件 (0件)	0件 (0件)	10件 (21件)	4件 (12件)	1件 (0件)	5件 (9件)
包括 (前年度)	19件 (18件)	1件 (4件)	90件 (95件)	2件 (5件)	0件 (0件)	112件 (122件)	41件 (24件)	4件 (2件)	67件 (96件)
合計 (前年度)	34件 (46件)	1件 (4件)	129件 (132件)	9件 (8件)	1件 (1件)	174件 (191件)	62件 (56件)	7件 (2件)	105件 (133件)

生活全般の困りごと相談（離婚・相続・債務等）は、職員で対応し適切な機関へつなげました。

○生活全般の相談実績

No	相談内容	R3 件数	R4 件数	No	相談内容	R3 件数	R4 件数
1	生計について	0	2	11	成年後見制度等について	3	
2	年金について	0	0	12	人権・法律について	0	0
3	職業・生業について	0	1	13	財産について	0	0
4	住宅について	0	1	14	ストーカー・DVについて	1	1
5	家族について	0	3	15	児童について	0	0
6	結婚・離婚について	0	0	16	教育・青少年について	0	0
7	消費者トラブルについて	0	1	17	母子・父子について	0	0
8	ご近所トラブルについて	0	1	18	苦情について	1	0
9	健康・衛生について	1	0	19	その他（情報提供等）	13	10
10	医療について	0	0	合 計		19	20

※福祉制度や社協業務に関する相談は、計上しておりません。

※包括・竹とんぼに関する相談は、別紙にて計上しております。

②専門相談日の充実

複雑多様化する市民の方々からの相談に対処するため、専門相談日を設置し、ニーズに即した相談体制の充実を図りました。

○専門相談日の実績

	法テラスによる 法律相談		鳥越弁護士による 法律相談		司法書士による 法律相談	
	R3年度	R4年度	R3年度	R4年度	R3年度	R4年度
4月	3	3	0	1	1	2
5月	0	1	2	0	0	1
6月	2	0	1	0	0	1
7月	2	1	0	0	2	3
8月	2	4	2	1	1	1
9月	0	1	1	3	2	0
10月	2	2	1	2	0	0
11月	1	0	0	1	1	1
12月	2	2	3	2	0	1
1月	1	1	2	3	0	0
2月	0	1	1	3	2	1
3月	0	1	3	1	2	1
合 計	15	17	16	17	11	12

③市民ふれあい交流センターの運営

市民ふれあい交流センターは、地域福祉活動の拠点として様々な事業に活用しました。

	大会議室		調理室兼中会議室		ボランティアセンター兼小会議室		談話室	
	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
4月	28回	303名	0回	0名	13回	50名	9回	24名
5月	18回	250名	0回	0名	11回	24名	10回	16名
6月	34回	469名	0回	0名	18回	46名	18回	28名
7月	27回	194名	0回	0名	14回	114名	18回	161名
8月	24回	343名	0回	0名	17回	53名	12回	34名
9月	18回	218名	0回	0名	14回	39名	8回	21名
10月	22回	297名	1回	5名	15回	70名	14回	33名
11月	26回	377名	1回	5名	13回	46名	20回	47名
12月	22回	324名	2回	9名	16回	59名	18回	46名
1月	14回	196名	1回	4名	12回	45名	12回	28名
2月	28回	362名	0回	0名	21回	85名	13回	36名
3月	29回	389名	1回	2名	23回	90名	116回	40名
合計	290回	3,749名	6回	25名	187回	721名	168回	541名

R3年度	242回	2,755名	0回	0名	129回	374名	133回	239名
------	------	--------	----	----	------	------	------	------

4. 地域福祉事業の推進

住民同士が連絡・連携をしながら、お互いの生活を支え合っていくための活動や仕組みとして、地区社会福祉協議会（以下「地区社協」という）を、それぞれの地域に合った形で取り組みが行えるよう、懇談会等を開催しました。

①地区社協による懇談会・交流会等の開催状況（令和4年度4回）

日付	自治会名	場所	内容
4月22日	川上区	志手町公民館	総会
4月27日	川内区	川内会館	総会
10月28日	川上区	地藏町集会所	意見交換会
3月18日	江ノ浦区	江ノ浦公民館	意見交換会

②地区社協設立状況

No	地区社協名	設立
1	地区社協青江	平成21年4月設立
2	地区社協福良	平成21年6月設立
3	地区社協四浦6	平成22年4月設立
4	地区社協徳浦	平成22年4月設立
5	地区社協警固屋	平成22年4月設立
6	地区社協網代	平成22年4月設立
7	地区社協江ノ浦	平成22年4月設立
8	地区社協赤崎	平成22年4月設立

9	地区社協川上	平成22年7月設立
10	地区社協日見	平成22年7月設立
11	地区社協千怒	平成22年10月設立
12	地区社協無垢島	平成22年12月設立
13	地区社協四浦1	平成23年2月設立
14	地区社協四浦2	平成23年2月設立
15	地区社協堅浦	平成23年3月設立
16	地区社協川内	平成23年4月設立
17	地区社協入船	平成23年4月設立
18	地区社協西ノ内	平成23年4月設立
19	地区社協長目	平成23年8月設立
20	地区社協畑	平成23年10月設立
21	地区社協中田	平成23年10月設立
22	地区社協岩屋	平成24年3月設立
23	地区社協四浦3	平成24年9月設立
24	地区社協保戸島	平成24年9月設立
25	地区社協宮本	平成25年4月設立
26	地区社協彦ノ内	平成25年5月設立

④ふれあいいいききサロン事業

「ふれあいいいききサロン」は、小地域を拠点に、住民同士のつながりや絆を深めたり、高齢者等の孤立や閉じこもりの予防、生きがいつくり等を目的として、事業を進めました。

※ふれあいいいききサロン事業の実績は別に掲載しています。

⑤ふれあい出前講座

知識や知恵、技術をもつ市民の方々に講師として社協に登録していただき、地区での研修やふれあいいいききサロン等の講師として、派遣を行いました。

令和4年度 講師登録者：現在 32名の個人・団体（無料）昨年度32名

No	社協ふれあい出前講座メニュー	
	講座内容	講師名
1	健康講座（心と体の健康） レクリエーション指導	藤沢忠生（僧侶）
2	障がいと子育て支援について	NPO法人やまびこ理事 倉原英樹
3	紙芝居・朗読・紙工作等	図書館ボランティアたんぽぽ 吉田信子
4	お気軽健康体操	健康運動指導士 内田弘美
5	高齢者のための交通安全	津久見市交通安全推進協議会
6	交通安全教室	津久見市交通安全協会
7	うつ病・心の病について	精神保健福祉士 下田憲子
8	「尊い命」など	小田恭壽
9	悪質商法撃退講座	大分県消費生活・男女共同参画プラザ

10	折り紙教室 居合演武	中津留弘 (津久見剣道連盟)
11	フラダンス教室	服部咲枝
12	高齢者の財産管理	鳥越徹(弁護士)
13	ハーモニカ演奏で歌おう	日名子正嗣
14	健康づくり	日本3B体操協会平川千恵子
15	知って得する電気のはなし	九州電力(株)佐伯営業所
16	ノルディックウォーキング体験	インストラクター井戸川幸雄
17	ハワイアン・フラ	エンジョイツクミ
18	護身・空手による健康体操	山崎豊
19	はつらつ体操	しらうめ福祉会職員
20	いつでも元気で津久見市	介護老人保健施設サテライトみなみ
21	マジック	上田治美
22	医療、福祉、災害全般	大分赤十字病院
23	尺八演奏 他	津久見尺八の会
24	食育	NPO法人日本食育協会山口幸代
25	ロン先生の日本昔話	佐藤寛倫
26	音楽全般	津久見音楽友の会
27	吹奏楽演奏	SORIN BRASS
28	筋トレ脳トレ生き生き教室	佐藤真奈美(日本ヨガ療法士協会)
29	オカリナ・ハーモニカ・三線	みかんの花
30	ハーモニカ演奏とミニトーク	薬師寺直子
31	大正琴	津久見文化協会なんでんかんでん
32	津久見の歴史	津久見史談会木村武司
33	認知症サポーター養成講座	地域包括支援センター社協職員
34	体操☆レクリエーション	社会福祉協議会職員
35	軽スポーツ教室	



(史談会)

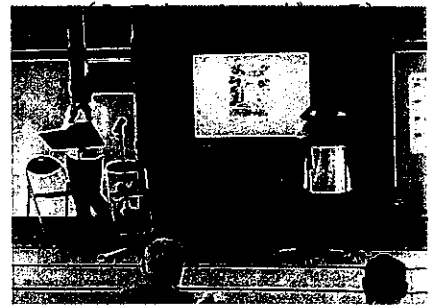
○有料登録団体・個人

社協ふれあい出前講座メニュー	
講座内容	講師
正しい薬の飲み方	NPO法人お薬研究会
県南落語	県南落語組合
シナプソロジー	麻生恵子インストラクター
笑いヨガ	大分笑いヨガクラブ モジュンダル由美子

○登録いただいた講師の方を派遣し、出前講座を行ったケース(12ケース)

日付	団体名	講師名
5月19日	岩屋口サロン	日本昔話 ロン先生
5月24日	じゃんけんぽん	ダイエット体操 内田氏
6月24日	セメント町サロン	日本昔話 ロン先生

7月4日	徳浦区1サロン	音楽全般	音楽友の会
7月11日	徳浦区1サロン	音楽全般	音楽友の会
9月29日	セメント町サロン	津久見の歴史	史談会
10月18日	旭きずなサロン	演奏	みかんの花
11月24日	中田区ふれあいサロン	笑いヨガ	モジュンダル由美子氏



(みかんの花)

11月25日	港町サロン	講話	臼杵津久見警察署
11月28日	網代サロン	講話	日代駐在所
2月13日	井無田新町サロン	日本昔話	ロン先生
3月10日	宮本区なかよしサロン	講話	臼杵津久見警察署

⑥障がい者交流事業（ふれあいバス旅行）

障がいのある方の中には、地域の中で交流する機会や外出の機会が少なく、生活状況が近所の方でも把握できない方がいます。このような状況の方々と接すると、表面化していない様々なニーズが潜んでいることに気付かされる場合があります。社協では、この交流事業を通して障がい者の社会参加の促進とさまざまな方々との交流の場の提供、ニーズの把握等に努めました。

日 時 令和4年11月6日

場 所 大分駅ビル

参加人数 28名



⑦福祉施設・事業所等連絡会の開催

市内の福祉施設・事業所等相互の情報交換、連絡調整と協働活動を推進し、事業内容の充実と地域福祉の発展を目的に、福祉施設・事業所等連絡会を開催しました。

（参加施設事業所：高齢者施設事業所16、障がい者施設事業所5）

令和4年度実績

開催日	協議内容
令和4年8月3日	①福祉人材確保について <ul style="list-style-type: none"> ・津久見市の取り組み状況 ・意見交換 市役所長寿支援課 課長 黒枝 泰浩 氏 ②その他について <ul style="list-style-type: none"> ・事務連絡

⑧関係機関団体ネットワーク会議

○区長・民生委員児童委員・介護予防推進員の合同研修会の開催

地区社協活動を推進するうえで、区長・民生委員児童委員・介護予防推進員の三者の連携強化は欠かせません。この連携強化を図るために、三者の合同研修会を開催しました。

日付	研修会	参加者数
6月27日	区長・民生委員・介護 予防推進員合同研修会 (宮本区・彦ノ内区・ 青江区・川内区・徳浦 区・日見区)	39名

日付	研修会	参加者数
7月7日	区長・民生委員・介護 予防推進員合同研修会 (千怒区・岩屋区・川 上区・畑区・長目区・ 網代区)	32名

○その他ネットワーク会議

- ・ボランティア協力校連絡会議（4月27日）
- ・ボランティア連絡協議会代表者会（3月16日）
- ・福祉施設事業所連絡会（8月3日）
- ・堅徳小学校区連絡会（11月5日）
- ・津久見小学校区連絡会（2月3日）
- ・青江小学校区連絡会（2月8日）
- ・千怒小学校区連絡会（中止）



◎ベンチ設置事業（共募・歳末配分）

津久見市建築士会の協力により、地区集会所、バス停留所にベンチを設置しました。

令和4年度設置台数10台
共同募金による配分（中田区・川内区・
警固屋区・日見区・四浦1区、社協バ
ス停）



（中田区）



（警固屋区）



（川内区）

⑩地域助成事業（公募による配分）

市民の皆様から寄せられた共同募金を財源に、市内の福祉団体やボランティアグループ、自治会（地区社協）等の地域団体、社会福祉法人及び特定非営利活動法人等が行う市民の福祉向上のための取り組みに、助成を行いました。

令和4年度助成団体(上限5万円)

- ・身体障害者福祉協議会

5. ボランティア活動の推進

①ボランティアの登録及び支援事業：個人43名、グループ 21団体（380名）

グループ名	活動内容
・手話サークル「小鳩」	聴覚障がい者の手話通訳や交流活動
・ボランティアグループ「ふれあい」	施設での利用者の介助や行事介助等
・ボランティアグループ「ふれあい電話」	一人暮らし高齢者に対し、電話による安否確認
・ボランティアグループ「あけぼの会」	視覚障がい者の支援活動や交流活動
・図書館ボランティア「たんぽぽ」	図書館での朗読奉仕（子どもへの本の読み聞かせ）
・修繕ボランティア	高齢者・障がい者世帯に訪問し、家屋の簡易補修
・つくみ環境美化グループ	市内の公園や周辺の植樹・緑化活動、清掃活動
・ボランティアグループ「りんり」	公園やイベント会場の清掃活動
・たけの子の会、紫の会	小学校の書写時に硬筆・毛筆の指導
・NPO法人ピースワークつくみ	児童の自然体験学習他
・津久見音楽友の会	病院、施設等への訪問演奏
・食生活改善推進協議会	食生活の改善指導等
・くすの木サークルマザーグース	小学生に本の読み聞かせを行う（津小）
・おたすけ会	保戸島地区の高齢者・病人の通院、入院介助
・地域女性団体連合会	イベント運営支援など
・津久見高校ボランティア同好会	施設等での交流ボランティア
・シルバードライバー協議会	交通安全運動の推進
・野の花会	福祉施設への支援
・SOR IN BRASS	吹奏楽演奏
・女性ドライバー協議会	交通安全運転の推進
・収集ボランティア鈴の会	古切手や使用済みテレホンカードなどを中心に収集し福祉団体等に送付

（個人登録）

・服のリフォーム（2名）	高齢者や障がい者の服のリフォームを行う
・音訳ボランティア（4名）	市報や社協だよりをテープに音訳編集し、視覚障がい者世帯に郵送
・夏のボランティア体験月間（7名）	夏休みのボランティア体験月間をきっかけに登録
・出前講師個人登録（22名）	自分の技能・技術・資格を生かし講師登録
・出前講師団体登録（13団体）	団体として、講師登録
・その他（8名）	自分の出来る時間に活動

②ボランティアの斡旋状況：ボランティアを必要とする方への派遣を行いました。

令和4年度斡旋実績：28回

ボランティア斡旋状況内訳		
ボランティア活動内容	件数	備考
・修繕ボランティアとして	8件	社協を介さず直接活動しているものは、計上しておりません。
・ふれあい出前講師として	12件	
・福祉体験学習講師として	8件	
・その他	0件	



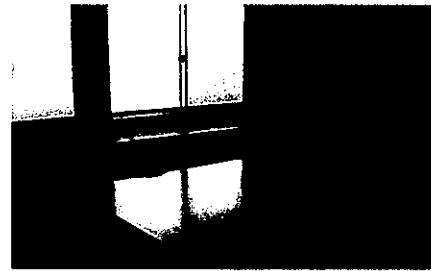
(環境美化グループ)



(修繕ボランティア)

③ボランティアコーディネーターの設置

ボランティアコーディネーターを設置し、ボランティアに関する調査、育成・発掘、情報収集や発信を柱として運営を行いました。



○ボランティア活動に関する相談件数

相談内容	相談件数		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
登録に関する事	68件	54件	49件
派遣に関する事	16件	22件	21件
活動に関する事	65件	89件	69件
個人・団体等の支援及び意見交換	196件	114件	85件
情報提供・発信に関する事	47件	40件	43件
連絡協議会に関する事	14件	7件	2件
その他相談件数	19件	13件	24件
計	425件	339件	293件

④ボランティア協力校関係

ボランティア協力校は、学校関係者と社会福祉関係者及び地域住民が協力し合って計画的・系統的に子ども達にボランティア活動の場や世代間交流の機会を提供し、その実践体験を通して「優しさ」「いたわり」「行動する勇気」と「自主性」を養い、社会奉仕と社会連帯の豊かな心をもつ人間として育てることを目的とし、事業を進めました。

令和4年度の活動協力校：市社協指定8校（小・中・高校）

令和4年度 ボランティア協力校活動実績

	津久見小学校	青江小学校	堅徳小学校
活	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉体験学習 ・花いっぱい運動 ・地域の方々との交流事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉体験学習 ・美化作業 ・うばめ園との交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉体験学習 ・地域の方々との交流事業 ・クリーンアップ清掃運動

動 内 容	千怒小学校	保戸島小・中学校	第一中学校
	<ul style="list-style-type: none"> 福祉体験学習 めだか公園管理 一人一鉢花育て運動 	<ul style="list-style-type: none"> 施設での交流事業 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉体験学習 あいさつ運動 歳末助け合い募金活動 地域高齢者へ年賀状
動 内 容	第二中学校	津久見高校	津小なかよし児童クラブ
	<ul style="list-style-type: none"> アルミカン回収 地域清掃活動 花いっぱい運動 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉体験学習 福祉のお仕事魅力発見セミナー 清掃ボランティア活動 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉体験学習

○福祉体験学習について

(社協職員と協力校において、福祉体験学習のメニュー作りに取り組みました。)

①津久見小学校で福祉体験学習

「福祉」について考える学習として4年生が取り組みました。

高齢者疑似体験学習 (6月1日 4年生 28名)

高齢者疑似体験学習を行いました。体に高齢者疑似体験セットの装具をつけおじいちゃん、おばあちゃんになった子ども達は、封筒を開けてみたり、本を読んだり、さまざまな体験を行いました。



認知症サポーター養成講座 (6月16日 4年生 28名)

認知症キッズサポーター養成講座を開催しました。認知症の人やその家族が困っていたら、優しく声をかけたり、あたたかく見守るなどの手助けができるように学習を行いました。



絵手紙教室 (7月7日 4年生 28名)

車いすで生活をしている原野彰子氏を講師に招いて絵手紙体験教室と普段の暮らしの中で不便なことについてのお話をいただきました。



講話・アイマスク体験 (9月9日 4年生 28名)

視覚に障がいのある麻生恒雄氏を講師に招いて、パラリンピックに出場した時の話やユニバーサルデザインなどのお話をいただきました。その後、アイマスク体験を行いました。



⑥青江小学校で福祉体験学習

「福祉」について考える学習として4年生が取り組みました。

いのちの授業（3月1日 4年生 21名）

大分県助産師会から講師に招いて、いのちの授業を行いました。神秘的ないのちの誕生や妊娠、出産の知識をわかりやすく伝え、知ってもらうことによりいのちの尊さを学びました。



⑦堅徳小学校で福祉体験学習

「福祉」について考える学習として4年生が取り組みました。

車いす体験（11月10日 4年生 7名）

車いすを使って福祉体験学習を行いました。



講話・アイマスク体験（11月24日 4年生 6名）

視覚に障がいのある麻生恒雄氏を講師に招いて、パラリンピックに出場した時の話やユニバーサルデザインなどのお話をしていただき、その後、アイマスク体験を行いました。



⑧千怒小学校で福祉体験学習

「福祉」について考える学習として4年生が取り組みました。

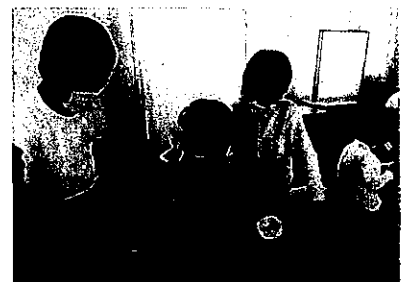
認知症サポーター養成講座（11月8日 4年生 31名）

認知症の人やその家族が困っていたら、優しく声をかけたり、あたたかく見守るなどの手助けができるように学習を行いました。



高齢者疑似体験学習（11月15日 4年生 31名）

体に高齢者疑似体験セットの装具をつけおじいちゃん、おばあちゃんになった子ども達は、封筒を開けてみたり、本を読んだり、さまざまな体験を行いました。



いのちの授業（11月29日 4年生 31名）

大分県助産師会から講師に招いて、いのちの授業を行いました。神秘的ないのちの誕生や妊娠、出産の知識をわかりやすく伝え、知ってもらうことによりいのちの尊さを学びました。



㊦第一中学校で福祉体験学習

「福祉」について考える学習として3年生が取り組みました。

いのちの授業（11月11日 3年生 72名）

大分県助産師会から講師をお招きし、いのちの授業を行いました。神秘的ないのちの誕生や妊娠、出産の知識をわかりやすく伝え、知ってもらうことによりいのちの尊さを学びました。



㊦津久見高校で福祉体験学習

「福祉」について考える学習として3年生が取り組みました。

認知症サポーター養成講座（7月19日 3年生 52名）

認知症サポーター養成講座を開催しました。認知症の人やその家族が困っていたら、優しく声をかけたり、あたたかく見守るなどの手助けができるように学習しました。



福祉のお仕事魅力発見セミナー（12月6日 3年生 46名）

福祉のお仕事魅力発見セミナーを開催しました。介護を中心とした福祉の仕事や役割に関心を持ち、その魅力と重要性について理解を深める機会になるよう学習しました。



㊦津久見小なかよし児童クラブで福祉体験学習

「福祉」について考える学習として児童クラブ生徒が取り組みました。

手話体験学習会（8月4日 28名）

大分県聴覚障害者センターから講師を招いて、手話学習会を行いました。



⑤夏のボランティア体験学習

夏休みを利用した、ボランティアな福祉活動を体験することにより、自分たちが住む地域社会の現状やその中で行われる福祉活動に対する理解と、ボランティア活動への積極的な参加を促進するため、各施設においてボランティア体験を実施しました。

令和4年度実績：3施設において7名の中学生・高校生が参加（令和3年度は4名参加）



(秋桜)



(あゆみ)

6. 災害に関する取組

大規模災害や局地的豪雨災害などによって被災した地域の復興や被災者支援における災害時のボランティア活動の重要性を認識し、災害ボランティア事前登録や育成、さらには活動環境の整備を進めました。

①災害ボランティアの事前登録及び育成に関すること

市内外で起こる大規模災害から局所的な災害に備え、万が一災害が起きたときに迅速かつ効果的に復旧・復興活動が行えるように事前の災害ボランティア登録制度を進めました。

○災害ボランティアの事前登録者

団体登録 … 9団体（414名）

個人登録 … 2名

②災害ボランティアセンターの体制整備に関すること

災害ボランティアセンターの運営を支援するボランティア関係機関、団体、企業、NPO、行政などが連携し、被災者ニーズに即し、円滑に支援できる体制づくりを進めるために、災害ボランティアネットワーク連絡会を設置し、情報交換や研修などを行いました。

○災害ボランティアネットワーク連絡会参加団体

参加団体 … 10団体

- ・大分教区カリタス カトリック津久見教会
- ・グリーンコープ生活協同組合おおいた
- ・天理教大分教区被災者支援チーム
- ・津久見市防災士会
- ・津久見市民生委員児童委員協議会
- ・大分県建築士会 津久見支部
- ・中部振興局 総務部第1班
- ・津久見市総務課防災・地域コミュニティ班
- ・津久見市職員労働組合
- ・津久見応援メディア うみかぜラヂオ

○災害ボランティアネットワーク連絡会の開催状況

災害ボランティアネットワーク連絡会

月 日	参加者	協 議 内 容
12月2日	13名	・講師を招き意見交換会 (災害情報支援ポータル代表上村貴広氏、県ボラセンター森美菜子氏)

7. 県社協よりの受託事業

①日常生活自立支援事業（旧地域福祉権利擁護事業）

判断能力の不十分な認知症高齢者、知的障がい者または精神障がい者等でかつ親族等の援助が得られない方に対して、福祉サービスの利用手続きやそれに伴う日常的な金銭管理等を行い、在宅や施設・病院における日常生活の支援を行いました。

＜利用対象者＞

判断能力に不安のある認知症高齢者、知的障がい者または精神障がい者等で、かつ、親族等の援助が得られない方

＜支援サービス内容＞

- ◆福祉サービスの利用援助
- ◆福祉サービスに関する情報提供
- ◆福祉サービス利用料の支払い援助
- ◆日常的な金銭管理サービス
- ◆年金、手当などの受領確認
- ◆日常的な生活費の払い出し、預け入れ
- ◆医療費、公共料金、家賃等の支払い等
- ◆書類、通帳、保険証書、実印、銀行印等の預かりサービス

＜利用料＞

①専門員による訪問相談、支援計画の作成	無 料
②契約後の生活支援員による援助 ・福祉サービスの利用のお手伝い ・日常生活に必要な手続きのお手伝い ・日常のお金の出し入れのお手伝い	1回あたり1,330円
③大切な書類などのお預かり	1カ月あたり500円

＜申込方法＞

津久見市社会福祉協議会に備えてある利用申込書により申請していただきます。事前にご本人と面会し、専門員が相談調査を行います。

＜例えば＞ 通帳や印鑑の紛失や、家賃や新聞代の支払いを忘れてしまうことが多くなり、遠くに住む家族も心配になっていたAさん（ひとり暮らし高齢者）の場合。あんしんサポートセンターの生活支援員が、月に2回の訪問（回数は利用者ごとに話をして決定）をする中で、家賃や新聞代の支払い、生活費の支払いを支援して月々の滞納をなくし、通帳や印鑑については、あんしんサポートセンター内の金庫にて保管することで紛失を防ぐこととなった。

<相談・契約実績>

相談、契約の状況							相談内容
利用者区分	相談件数			契約件数			
	R2	R3	R4	R2	R3	R4	
認知症高齢者	3	5	2	0	0	0	・ 日常の金銭管理 ・ 福祉サービスの利用について ・ 今後の生活設計等について ・ 事業についての内容照会
知的障がい者	3	1	0	1	1	0	
精神障がい者	3	1	6	1	1	3	
その他	0	2	0	0	0	0	
計	9	9	8	2	2	3	

*令和4年度末契約件数：9件（令和3年度10件）

内訳（認知症0件、知的障がい者5件、精神障がい者4件、解約者4件）

②生活福祉資金貸付事業

他の貸付制度が利用できない所得の低い世帯、障がい者や高齢者世帯に対して、その世帯の生活の安定と経済的自立を図ることを目的に、資金の貸付と必要な相談支援を行いました。

<貸付対象者>

◆低所得世帯

世帯の収入が本事業の収入基準（生活保護費の1.8倍以内）を超えない世帯

◆障がい者世帯

身体・知的・精神等の障害者手帳の交付を受けた方の属する世帯

◆高齢者世帯

日常生活上、療養または介護を必要とする、おおむね65歳以上の高齢者が属し、その収入が本事業の収入基準を超えない世帯

<貸付金の種類>

◆福祉資金

低所得者、障がい者又は高齢者の世帯に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行うことで、経済的自立及び在宅福祉、社会参加の促進を図ることを目的とした貸付制度です。

◆教育支援資金

低所得者世帯を対象に、学校教育法に規定する高校、短大、大学、高等専門学校に就学するために必要な経費を無利子で貸付する制度です。

◆総合支援資金

失業や減収により生計維持が困難になり、生活再建のための継続的な相談支援を必要とする世帯に対して資金を貸し付ける事で世帯の自立を支援する制度です。（原則、生活困窮者自立支援窓口での相談が必要です。）

◆緊急小口資金

傷病、賃金の未払い等の原因により、一時的に著しい生活困窮に陥ったときに貸付する制度です。

◆不動産担保型生活資金

住み慣れた我が家で老後を送れるように、所有しているお住まいの土地・建物を担保として生活資金を貸付する制度です。（土地評価額1000万円以上）

<貸付決定>

貸付は、大分県社会福祉協議会が審査を行います。審査結果によっては、資金の貸付ができない場合があります。

<相談・貸付・償還実績>

相談延件数			相談内容
令和2年度	令和3年度	令和4年度	緊急小口資金・教育支援資金・総合支援資金など（特例貸付を含む）
79件	128件	147件	

資金種別	貸付件数		
	R2	R3	R4
教育支援資金	0件	0件	0件
福祉資金（福祉）	0件	1件	1件
福祉資金（小口）	4件	6件	3件
総合支援資金	1件	2件	0件
計	5件	9件	4件

令和4年償還完了等件数	
種別	件数
償還完了	7件
償還免除	0件
延滞利子免除	0件
申請却下	0件



○貸付の累計件数（本年度契約分含む）

資金種別		累計件数
福祉資金	福祉費	4件
	緊急小口資金（コロナ特例除く）	10件
教育支援資金		5件
総合支援資金（コロナ特例除く）		3件
離職者支援資金		1件
計		23件

◎新型コロナ特例貸付については、別紙のとおり。

③フードバンクおおいた事業

フードバンクとは、賞味期限内でまだ十分食べられるにもかかわらず、箱が壊れたり、印字ミスなどで販売できない食品などを、企業や家庭から寄付してもらい、食べ物に困っている人や福祉施設（団体）などに届ける事業です。本年度も支援を必要とされている方へ食料支援を行いました。

【提供していただきたい食料品】：常温で長期保存（1ヶ月以上）が可能で簡単なもの

※食料品の確保は、県社会福祉協議会が行っています。（県社協より市社協へ配布）

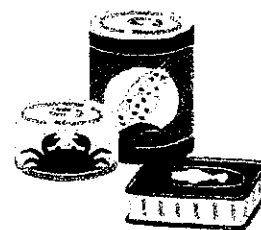
※食料品の支援は、個人に対しては、基本的に1回限りです。

令和4年度実績

食料支援を行ったケース

利用者区分	支援件数				
	H30	R1	R2	R3	R4
高齢者一人暮らし男性	2	3	1	2	0
高齢者一人暮らし女性	0	1	1	0	0
高齢者夫婦世帯	1	1	0	1	1
高齢の親と子供の世帯	0	0	3	2	3

母子世帯	0	0	0	0	0
60代男性一人暮らし（65歳未満）	0	0	0	2	6
50代男性一人暮らし	3	3	0	5	1
50代女性一人暮らし	0	0	2	1	0
40代男性一人暮らし	0	1	0	2	1
40代女性一人暮らし	0	0	0	1	0
30代男性一人暮らし	0	0	0	0	1
40代夫婦と子供の世帯	0	1	0	0	0
兄弟で同居の世帯	0	0	0	4	1
計	6	10	7	20	14



8. 津久見市からの受託事業

①地域包括支援センター社協

地域における高齢者総合相談・支援、介護予防マネジメント、包括的組織的マネジメントを担う機関として事業の充実に努めました。

※包括支援センターの実績は別紙にて

②障がい者の相談窓口

障がい者指定相談事業所サポートセンター竹とんぼとして、障がい者や家族、介護者等からの相談に対し、必要な情報提供やサービスの利用援助等を行いました。

※竹とんぼの実績は別紙にて

③生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の活動推進

◆生活支援コーディネーター設置の背景

国は、増加する介護に関する予算を少しでも削減したいという狙いで、介護保険制度の見直しを行いました。その中で、新たに制度設計され仕組みの一つが、この生活支援コーディネーターの設置です。高齢の方が、健康で地域において生活するためにはいろいろな課題の改善が必要となります。日常生活の維持に必要な買い物や掃除・外出支援、高齢者が生きがいをもって参加できる活動がこれまで以上に必要となり、お互いに支え合う多様な活動の充実が不可欠となります。このような、高齢者が抱える課題を少しでも解決する仕組みづくりを行政関係機関と協力して整備することを目的として、生活支援コーディネーターの設置が行われました。

◆生活支援コーディネーターの役割

役割	①地域ニーズと資源の状況の見える化、問題・課題等の提起 ②多様な主体への協力依頼（働きかけ） ③関係者とのネットワーク化の推進 （連携の体制づくり、情報共有等） ④生活支援の担い手の養成、地域に不足するサービスの開発 ⑤地域の支援ニーズ（課題）とサービス提供主体とのマッチング
配置状況	職員3名で担当

<生活支援体制整備事業の経過>

27年度の取組	○高齢者の生活課題把握と分析、市内社会資源の把握 ①地区懇談会による課題把握 ②市内要支援1・2の方のサービスプラン分析（課題把握） ③社会資源の把握（サロンマップ・体操教室の把握）
28年度の取組	○懇談会等で把握した地域課題を解決するしくみづくりの提案 つくみん安心見守りネットワーク ・市内の事業所（新聞、郵便、ガス、水道等）と見守り協定 ・市内の居宅介護支援事業所と協定（入所入院情報を民生委員へ）
29年度の取組	○生活支援に関する事業企画案の検討 ・高齢者の生活課題をボランティアにより支援する仕組みの検討 ・新たな集いの場の検討
30年度の取組	○生活支援に関する事業の立ち上げ ・つくみ困りごと支援センター立ち上げ準備 ・コミュニティ食堂立ち上げ
令和元年度の取組	○生活支援に関する事業の運営 ・つくみ困りごと支援センター試験運用 ・コミュニティ食堂の運営支援

○令和4年度の取組

①つくみ困りごと支援センターの運営支援

運営主体…ボランティアグループ「みんなのサポートセンター」

目的…暮らしの中でのちょっとした困りごとのある人（利用者）と、ちょっとしたお手伝いのできる人（協力者）が、ご近所さん同士で行う、有料での助け合い活動です。

支援内容…	支援内容	利用者負担金	内 訳	協力者報酬	センター運営費
	ゴミ出し	1回 100円		1回 50円	1回 50円
	電球交換	1回 100円		1回 50円	1回 50円
	冷暖房機の出し入れ	1回 200円		1回100円	1回100円
	荷物の移動	1回 400円		1回200円	1回200円

活動実績…利用登録者26名（実利用者15名）

協力者登録数…82名（令和5年3月31日現在）

つくみ困りごと支援センター事例

<事例1>

●A女性 一人暮らし 下肢不自由 83歳
退院後、介護保険のヘルパーサービス（掃除・ゴミ出し・買い物）を利用していたが、少しずつ体調が改善したため、掃除は自分で、買い物は宅配や移動販売を利用、ゴミ出しは、アパートの2階に住んでいるため、支援の必要があるので、困りごと支援センターを利用することになった。このことにより、完全に介護保険の利用を卒業することが出来た。
（※移動販売等は、品物を2階まで運んでくれていた。）

<事例2>

●B男性 一人暮らし 在宅酸素・下肢不自由 74歳
退院後、介護保険のヘルパーサービス（掃除）を利用、買い物は、市外に住む息子週1回程度支援に来ているが、ゴミ出しは在宅酸素を抱えたままでは困難であり（特に雨降り等）、困りごと支援センターにてゴミ出し支援を利用している。（※ヘルパーの支援はあるが、Bさんの地区のゴミ出し日とヘルパーの支援日の日程が合わずにヘルパーの活用に至らなかった。）

<事例3>

●C女性 一人暮らし 下肢不自由 78歳
退院後、下肢の状態が悪く、住まいも2階で生活している状況。買い物や掃除は市外の娘が支援をしているが、ゴミ出しは、朝が早く娘も働いているため支援が難しいとのことで、ヘルパーを利用しゴミ出し支援をお願いしようとしていたが、困りごと支援センターの情報を知り、ゴミ出し支援を利用するようになった。よって、介護保険を利用せずに済んだ。

<事例4>

●D女性 一人暮らし 認知症（動作等は健康で問題がない） 92歳
退院後、在宅で生活するため、介護保険の申請を行うようにしていたが、本人が、デイサービスに行ったり、ヘルパーを家に入れたりすることを拒み、市外に住む子供（長女・長男）が困っていた。食事はコープの宅配弁当と長女の作り置きを食べている。掃除も長女が支援しているが、ゴミ出しは支援が難しく、困りごと支援センターの支援を受けることで、介護保険サービスを利用することなく在宅生活を行えている。（※ゴミ出しの方法は、長女又は長男が週一回交代で夜ゴミの仕分けし、外のポリバケツに仕分けしたゴミ袋を入れておく。朝ボランティアが回収する。）

⑥コミュニティカフェ・コミュニティ食堂の運営支援

内 容…より多くの人たちの社会参加を促すとともに地域からの孤立を防ぐため、身近で気軽に参加でき、ふれあいを深めることが出来る場所や機会の充実を図るよう支援しました。

(1)コミュニティカフェ

カフェ名	場 所	回 数	一回の人数	備考
じじばばハウス	空き店舗(徳浦)	9回	15名程度	地区住民対象
ミニ喫茶いっぴく	地区公民館(堅浦)	中止		地区住民対象
ホットハートカフェ	地区公民館(彦ノ内)	中止		地区住民対象
井戸端会議	地区公民館(赤崎)	2回	23名程度	地区住民対象
田ノ浦カフェ	地区公民館(田ノ浦)	中止		地区住民対象
カフェsmileスマイル	地区公民館(志手町)	中止		主に障がい者対象

(2)コミュニティ食堂

食堂名	場 所	回 数	一回の人数	備考
みんなの食堂	カトリック教会	基本月2回 (令和4年度16回)	子どもとその家族 40名(家族を含む) 高齢者8名	主に児童・高齢者等対象

◎新たな社会資源の把握

これまで関わりのなかった住民の方々（たまり場や趣味の会など）にアプローチし、生活支援コーディネーターの役割を理解していただきながら、普段の暮らしの中で、お互いに声掛けあったり、気になる方がいれば本会へつないでいただくように周知を行いました。

資源把握回数…27回訪問（趣味の会、教室、たまり場等）

※別紙資料のとおり

④多機関協働事業

多様で複合的な福祉問題に対して、相談支援包括推進員を配置し、重層的支援会議の中で、関係者や関係機関の役割を整理し、支援の方向性を決定しました。

○相談支援包括推進員…3名配置

○重層的支援会議の開催

会議名	件数
重層的支援会議（同意あり）	2 件
個別ケース会議（同意なし）	7 件

（内訳）

対象者区分	件数
高齢者一人暮らし男性	3 件
50代男性兄弟	1 件
高齢の親と子の世帯	2 件
高齢の兄弟	1 件

○重層的定例会の開催

開催日	内 容
令和4年7月26日	①重層的支援体制整備事業の説明及び意見交換 ②市営住宅居住者の高齢化に伴う課題等について ③区長、民生児童委員、介護予防推進員等による合同研修会について
令和4年10月25日	①地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム推進事業について ②ヤングケアラーの対応について ③つなぐために必要な地域づくりについて ④災害時に避難を拒否する住民の情報について ⑤身寄りがいないもしくは親族と疎遠になっている住民への対応について
令和5年3月16日	①第2号被保険者による障害福祉サービスと介護保険サービスの併用及び障害福祉サービス利用者が65歳到達後から介護保険サービスに移行する際の課題等について ②次年度に向けての取り組みや連絡事項等について

⑤新型コロナウイルス感染症対策事業

新型コロナウイルス感染症対策のため、Web会議等が実施できるカメラやマイク等の整備や、交流センター利用者及びふれあいいいきサロン参加者等の感染防止対策用充電式消毒スプレー機の整備を行いました。

設置場所	事業内容	個数等	備考
社会福祉協議会	web会議まるごとセット	1セット(テレビ、マイク、カメラ)	
	充電式消毒スプレー機	2台	
	消毒液	12袋	

9. 在宅福祉サービス事業

①福祉機器の貸出事業

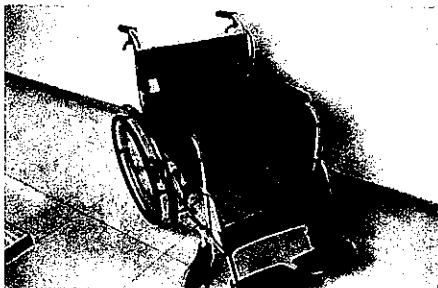
○貸出状況

福祉機器名	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
車いす	48	52	65	35	26	22
ポータブルトイレ	9	9	11	11	16	10
介助バー・入浴グリップ	0	0	0	4	0	1
シャワーチェア・浴槽台	1	0	2	9	4	5
松葉杖・杖	0	0	0	1	1	1

<事例>

⑥施設や病院に入所や入院をしており、一時的に在宅へ戻る場合

⑦介護保険を利用中であるが、旅行に行くため一週間のみ車いすを借りたい。



②訪問理美容サービス

在宅で寝たきりの高齢者や障がい者に対して、理美容師を派遣して整髪を行いました。
※社協より、理美容師に出張料を支払い、利用者は理美容の店内料金を理美容師に支払います。



年度	実利用者数	延べ利用回数
平成30年度	5名	13回
令和元年度	7名	20回
令和2年度	6名	12回
令和3年度	5名	11回
令和4年度	8名	20回

③ふれあい電話

ボランティアにより、一人暮らしの高齢者世帯へ、月2回電話による安否確認の声かけを行いました。（電話は、社協より利用者宅へ行きます。）

年度	実利用者数
平成30年度	8名
令和元年度	8名
令和2年度	6名
令和3年度	6名
令和4年度	5名

10. 啓蒙啓発活動

- ①広報紙「たちばな」発行：年4回発行
- ②ホームページ、フェイスブックの運用
- ③市社会福祉大会の開催：式典・講演会

11. 共同募金活動の推進

①共同募金運動

県共同募金会の支会として、募金活動を行いました。

令和4年度実績 3,196,312円

戸別募金	2,482,200 円
法人募金	259,000 円
職域募金（ボールペン）	398,360 円
職域募金（バッジ）	16,080 円
グルメ散歩募金	21,004 円
自販機募金	17,136 円
その他募金	2,530 円
預金利息	2 円



②歳末たすけあい募金運動

令和4年度募金実績

1,910,772円（剰余金1,206,259円を含む）

令和4年度配分実績

配分先	配分金額
就学援助該当小中学生支援金（76名）	380,000円
地域交流事業（みんなの食堂）	25,000円
地域交流事業（子ども食堂スマイル）	25,000円
地域交流事業（うばめ園）	70,000円
地域交流事業（ちちんぷいぷいあけぼの）	25,000円
計	525,000円

③生活困窮者支援制度（本会独自制度）

歳末たすけあい募金を財源とし、緊急的に金銭による支援が必要な世帯で、生活保護制度や生活福祉資金貸付制度等、他法や他施策の利用が難しい生活困窮世帯へ現金の貸付を行うことにより、当該世帯の生活の安定と自立を支援を進めました。

令和4年度貸付実績（前年度貸付実績1件）

コロナ感染者食材等購入立替費用・・・14世帯（総額118,243円）

12. その他事業

①民生委員児童委員協議会の活動支援（事務局）



（民生児童委員PR活動）

- ・民児協役員が福祉施設訪問



（専門部会研修会）

- ・民生児童委員活動についての研修

②情報の共有のためのネットワーク

民生委員児童委員協議会が取り組んでいる「高齢者世帯実態把握調査」のデータに、市社協が把握している高齢者情報(包括との関わり、サロンの登録情報等)を転記し、民生委員児童委員の活動の支援を行いました。

調査数…7,866名

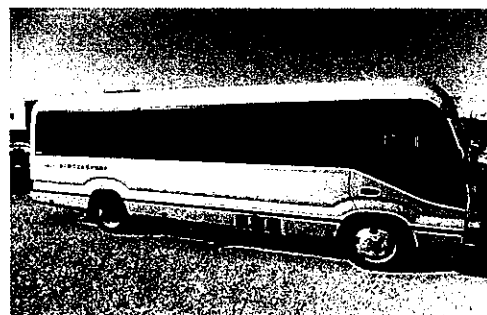
③その他福祉関係団体への活動支援

- … 身体障がい者福祉協議会、盛人クラブ連合会、更生保護女性会
子ども会育成連絡協議会、臼津保護区保護司会津久見分区
ボランティア連絡会、各ボランティアグループ
各ボランティア協力校、社会を明るくする運動実施委員会
遺族連合会、市内福祉施設事業所等連絡会

④福祉バスの運行

福祉関係団体等の研修会・大会参加時の送迎を行いました。（乗車定員28名）

利用団体名	運行回数		
	R2	R3	R4
ふれあいサロン		0日	1日
高齢者学級		0日	0日
ボランティア登録団体		1日	2日
市役所行事		0日	2日
社協行事（サロン以外）		0日	3日
福祉関係団体		0日	1日
福祉施設		0日	0日



平成25年度 運行日数153日

平成26年度 運行日数132日

地区社協		0日	0日
盛人クラブ		0日	2日
保育園		0日	0日
民生委員児童委員協議会		0日	0日
遺族連合会		0日	0日
ボランティア協力校		0日	0日
その他団体		0日	0日
計	0日	1日	11日

平成27年度	運行日数	117日
平成28年度	運行日数	109日
平成29年度	運行日数	74日
平成30年度	運行日数	125日
令和元年度	運行日数	91日
令和2年度	運行日数	0日
令和3年度	運行日数	1日
令和4年度	運行日数	11日

新型コロナウイルス感染症に伴う特例貸付について（令和5年4月1日現在）

貸付対象 新型コロナウイルス感染症の影響により失業したり収入が減った世帯
 貸付種類 緊急小口…原則10万円、最大20万円まで借入可能（原則1回）
 総合支援資金…複数世帯月20万×3か月、単身世帯 月15万×3か月
 〃（延長）…プラス3か月（令和3年6月末まで）
 〃（再貸付）…プラス3か月（令和3年12月末まで）
 （最大（複数世帯）で200万円まで借入可。）
 償還（返済）・・・令和5年1月から始まり、緊急小口資金は2年、総合支援資金は10年以内。ただし、償還開始時に収入減少が続く（住民税非課税等）場合は、償還免除となる。（なお、免除後は自立支援機関の相談継続）
 期 間 令和2年3月下旬から令和4年9月30日まで

特例貸付の状況(最終)

(令和5年4月1日現在)

特例貸付	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	件数計	貸付金総額
緊急小口	1	35	35	5	76	14,130,000
総合支援	1	35	29	7	72	35,460,000
〃 延長	—	3	14	—	20	9,600,000
〃 再貸付	—	—	—	—	26	12,400,000
合 計	2	81	99	12	194	71,590,000

償還開始 R6年1月

R7年1月

年齢層	延べ人数	実人数
10代以下	0	0
20代	44	18
30代	28	13
40代	24	14
50代	50	24
60代	29	15
70代以上	19	10
合 計	194	94

重複利用	人 数
小口のみ	21
総合のみ	11
小口+総合	28
総合+延長	5
小+総+延	5
小+総+再	13
小+総+延+再	11
合 計	94

※最初の借入時年齢

※県外、市外からの転入含む

(実人数)

男 139 (66)

最年少 20歳

最大借入 200万円 4世帯

女 55 (28)

最年長 79歳

郵送受付 29

申請後取下

2件

不承認

1件

免除承認

53件 (29人)

内訳 (非課税免除48件, 任意免除5件)

1年猶予

6件 (4人)

免除率 53/136 約 39%

令和4年度津久見市地域包括支援センター社協事業報告

津久見市地域包括支援センター社協は、高齢者の総合相談窓口として、24時間365日いつでも相談できる体制の更なる充実と、年々複雑化する相談内容に、行政はもとより様々な関係機関と連携しながら対応しているところです。

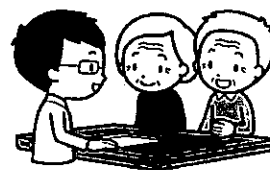
令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な事業を実施することが困難な状況下において、地域のみなさんが気軽に集まり、つながりづくり、元気づくりを進める場として、感染予防対策への対応を確認しながら、ふれあいいきいきサロン事業の充実をはかり、それぞれの地域に合わせたサロン活動が行えるよう引き続き支援をおこないました。

また、年々増加している認知症の相談支援や、認知症の人や家族を支えるつながりを支援する「にじカフェ（認知症カフェ）」等認知症に関わる支援も本格的に再開し、つながりを絶やすことなく行いました。子供から高齢者まで一人でも多くの方に認知症についての理解を深めていただけるよう、広報活動にも取り組みました。

1、包括的支援事業

(1) 総合相談支援事業

地域における高齢者等の総合相談中核機関として、様々な相談に対応し、必要に応じ関係機関と連携を図り、必要な機関・制度・サービスに繋げました。



①総合相談業務

窓口、訪問、電話相談、夜間休日は転送電話にて24時間365日きめ細やかな対応を行いました。

時間外転送電話による対応件数

時間帯		平成30年	令和元年度	令和2年度	令和3年	令和4年
平日	夜間早朝	20件	31件	23件	18件	19件
	深夜	0件	3件	1件	4件	1件
土日 祝日	日中	95件	117件	88件	95件	90件
	夜間早朝	10件	12件	4件	5件	2件
	深夜	0件	0件	2件	0件	0件
合計		125件	163件	118件	122件	112件

電話による相談対応	26件	(26件)
現場にて緊急対応	3件	(2件)
問い合わせ・連絡調整に対する電話対応	83件	(91件)

相談内容と件数

相談内容	平成30年	令和元年度	令和2年度	令和3年	令和4年
介護保険、その他の福祉サービス	410件	378件	366件	349件	421件
権利擁護（成年後見制度等）	21件	10件	5件	3件	8件
高齢者虐待	3件	5件	3件	4件	3件
苦情、法律	0件	0件	2件	0件	2件
その他	101件	66件	136件	159件	190件
合計	535件	459件	512件	515件	624件

②地域包括支援ネットワーク構築事業

※社協広報紙「たちばな」（年4回発行）、パンフレット、Tシャツの活用

※社協ホームページ、フェイスブックの活用

※いきいきサロンの出前講座や認知症サポーター養成講座の活

サロンや講座の開催の際は、包括支援センターの活動について

説明等を行いました。

③実態把握業務

※地域ケア会議への取り組み

提出事例から地域課題を掘り起こし、長寿支援課と一緒に課題を整理しました。

(2) 権利擁護業務

地域の高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続できるように、特に権利擁護の観点から支援が必要と判断した場合において、適切なサービス、機関または制度の利用に繋げる等の支援を行いました。



①成年後見制度の活用促進

認知症等で正しい価値判断ができなくなってしまった方々の利益が守られるよう制度の活用をすすめました。

- ・ 広報紙たちばなへの掲載を行い、広報活動を行いました。
- ・ 成年後見制度相談センターの職員と協力し、手続き等の支援を行いました。

②高齢者虐待の防止と早期発見

高齢者虐待防止連絡協議会・・・年度中の開催はなし

虐待への対応や早期発見の為、関係機関との連携や情報交換を行いました。

③消費者被害の防止

消費者被害情報収集や関係機関に必要な情報提供を行いました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント

地域の高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、介護支援専門員、主治医、関係機関等の連携、多職種協働等との連携、地域における連携・協働の体制づくり、介護支援専門員に対する支援等を行いました。

①地域包括ケア会議の開催

在宅医療介護連携推進事業の中で、作業部会のメンバーとして各部会の活動に参画しました。

②介護支援専門員への支援

※介護支援専門員の相談窓口

自立に向けてのケアプランの作成の指導や、事業所で1人で業務を行う介護支援専門員からの相談対応等を行いました。

※困難ケースへの同行訪問、支援

居宅介護支援事業所の介護支援専門員からの支援困難事例に関して、関係者や関係事業所と連携し、必要に応じて同行や見守り対応等の支援を行いました。

(4) 介護予防ケアマネジメント

介護予防及び日常生活の自立を目的として、65歳以上の基本チェックリストに該当する方に対しアセスメントを行い、利用者の状況を踏まえた必要な介護予防サービスの利用、住民主体の通いの場等への参加の検討等を支援しました。

◇介護予防ケアマネジメントプラン作成数 ※（ ）内の数字は新規作成件数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度	
				包括	居宅	包括	居宅
4月	110(9)	82(2)	62(2)	53(5)	8(0)	46(6)	2(1)

2	7月19日	津久見高校 会計システム科・総合ビジネス科3年生	52名	津久見高校 プレゼン室
3	9月28日	ジョイントリー職員・利用者	12名	ジョイントリー
4	11月8日	千怒小学校4年生	28名	千怒小学校 多目的室
5	11月11日	津久見市民	16名	ふれあい交流センター
6	3月22日	津久見地域女性団体連合会	6名	ふれあい交流センター

開催回数…6回 延べ参加人数…142人

実施内容…認知症の対応等に関するDVDの上映、寸劇、病状、予防についての話し。

※街頭活動

9月21日(水)アルツハイマー月間に合わせてリーフレットとマスクの配布を行いました。

- ・マルショク津久見店入口で243枚配布しました。
- ・介護支援専門員協会3名、ボランティア1名、生活支援コーディネーター、包括職員



※展 示：アルツハイマー月間中(9/1～9/30)

- ・図書館にてパネル、書籍の展示
- ・大分銀行、津久見駅、津久見中央病院、津久見市役所玄関ホールにてパネル展示

※オレンジガーデニングプロジェクト

9月のアルツハイマー月間に合わせて、認知症啓発活動のシンボルカラーであるオレンジ色の花(マリーゴールド)を街中に咲かせようというプロジェクトに参加。事務所や市役所玄関前、賛同していただいた方の自宅や施設でマリーゴールドの花を育てていただきました。

②相談支援事業

認知症初期集中支援チームと連携して、必要な支援を行いました。
認知症関連相談件数 110件(内推進員が関わった件数 28件)

③認知症カフェの開催状況

	日付	内 容	参加者	会 場
1	4月19日	カフェ	8名	ふれあい交流センター
2	5月17日	カフェ	10名	ふれあい交流センター
3	6月21日	カフェ	9名	ふれあい交流センター
4	7月19日	カフェ	9名	ふれあい交流センター
5	8月16日	カフェ	11名	ふれあい交流センター
6	9月20日	カフェ	9名	ふれあい交流センター
7	10月18日	カフェ	19名	ふれあい交流センター
8	11月15日	カフェ	20名	ふれあい交流センター
9	12月20日	クリスマス会	20名	ふれあい交流センター
10	1月17日	カフェ	17名	ふれあい交流センター
11	2月21日	カフェ・ミニゲーム	16名	ふれあい交流センター
12	3月14日	カフェ・ミニゲーム	11名	ふれあい交流センター

開催回数・・・12回 延べ参加人数・・・159人
通信を参加者に送付しました。…12回



④認知症家族への支援

※介護者のつどいの開催・・・毎月1回第2水曜日10:00～
市民ふれあい交流センターにて

感染予防対策を行い、通常開催しました。
認知症について理解を深め、介護の悩みを相談、共有するリフレッシュの場として活動を行いました。

※認知症ピアサポーター派遣事業

大分県の事業を活用し、認知症の当事者とその家族に対してピアサポーターが中心となり、本人ミーティングを開催しました。

認知症ピアサポーター：認知症の本人が同じ症状や悩みを持つ認知症の方と体験を共有し、共に考えることで本人や家族を支える人のこと

⑤各種会議・研修会への参加

認知症地域支援推進員等連絡会議…4回
 認知症施策市町村担当者会議…3回
 認知症施策プロデュース部委員会
 認知症地域支援体制推進全国合同セミナー
 おおいた認知症希望フォーラム

ピアサポーター養成研修会
 認知症初期集中支援チーム員会議…2回
 認知症地域支援推進員新任研修会
 認知症疾患センター医療連携協議会
 老人保健推進事業成果報告会

(2) 認知症初期集中支援事業

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を推進しました。

訪問支援状況

	令和4年度
訪問対象人数	1名
訪問回数	3回

チーム員会議…2回



3、指定介護予防支援事業

生活上のさまざまな問題をかかえた介護保険における予防給付の対象となる要支援者に、介護予防サービスのみに限らず、ご近所の声かけ、見守りのネットワークをはじめとする「地区社協」の取り組み等を活かした介護予防計画を作成し計画に基づくサービスが行われているか、事業者等の関係機関との連絡調整を行い、6か月ごとに評価を行いながら、自立に向けた計画づくりを行いました。

*委託先の支援計画について

- ・自立支援へ向けての予防計画の確認、助言
- ・評価、支援記録の管理、内容確認を行いました。

◇介護予防給付プラン作成状況（新規・継続） ※（ ）内の数字は新規作成件数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度	
				包括	居宅	包括	居宅
4月	83(4)	86(4)	83(3)	60(0)	16(0)	69(0)	14(1)
5月	83(2)	95(8)	81(0)	59(3)	17(1)	62(3)	14(1)
6月	87(6)	91(3)	79(1)	63(2)	15(0)	68(1)	13(0)
7月	86(2)	92(4)	79(2)	64(5)	17(1)	57(0)	12(0)
8月	84(0)	89(0)	74(1)	67(2)	16(2)	60(5)	12(0)
9月	88(5)	91(3)	74(6)	63(1)	17(1)	60(2)	12(1)
10月	85(1)	86(1)	77(5)	67(0)	17(0)	57(2)	12(1)
11月	84(1)	88(4)	77(2)	68(2)	15(0)	61(4)	14(1)
12月	86(4)	90(4)	74(3)	68(2)	14(0)	58(3)	12(1)
1月	81(1)	90(4)	71(4)	72(4)	14(0)	60(3)	9(0)
2月	83(2)	87(3)	70(7)	52(2)	16(1)	62(2)	9(0)
3月	85(2)	87(2)	73(1)	74(4)	15(1)	61(1)	4(0)
合計	1,015(30)	1,072(40)	912(35)	777(34)	189(5)	735(26)	137(6)

○ 委託状況

「委託」・・・9事業所

- (市 内) つくみかん居宅介護支援事業所、介護保険サービスセンター白梅荘、
居宅介護支援事業所万里、居宅介護支援事業所おあしす
こすもすケアプランセンター
- (大分市) 介護保険サービスセンターあかり、百華苑在宅サービスセンター
医療生協介護保険サービスセンター健生、はんだ介護保険支援センター

4、介護予防の充実

生活上のさまざまな課題を抱える高齢者に対して、介護が必要になることをできるだけ遅らせ、介護が必要な状況になっても、その状態を維持、改善して悪化させないようにすることで、住み慣れた地域で、活動的で生きがいのある生活ができるような支援を行いました。また、介護予防の意義や知識をサロン活動を通じて広め、地域の皆さんのふれあい、交流の場を活性化することで、見守り声かけのネットワークを広げ、安心して暮らせる地域づくりへとつなげていきました。

①総合事業の利用の促進

心身の状況、置かれている環境その他の状況に応じて通所型サービス、訪問型サービス等適切かつ効果的に提供されるよう必要な支援を行いました。短期集中予防サービスC型の推進を動画やICTを活用して行いました。


②ふれあいきいきサロン事業

生活支援コーディネーターと連携して地域ごとのニーズや、地域の実情に応じた介護予防を行いました。

サロン数…60 実施回数…311回 延べ参加者数…5,258人

昨年に引き続き関係者への感染予防対策の理解と周知を進めるとともに国や県、市の動向に合わせ、感染症予防対策を講じたサロン活動への支援と実践を行いました。

5、災害・感染対策

- (1) ケアプラン作成の際のアセスメント時に災害時に必要な情報の収集等を行いました。台風接近時には気になる高齢者に対して電話連絡を行い、避難等の促しを行いました。また避難先等確認も行いました。通過後は安否確認をしています。地域の防災状況も確認・把握を行いながら支援を継続しました。
- 
- (2) 昨年に引き続き体温測定、マスクの着用、消毒剤の携帯の徹底、抗原検査を行い自己の体調管理を行いました。また、行政や関係機関との連携と情報の共有を行いました。他の感染症に関しても同様の対応を行いました。

(別紙)

ふれあいいいきサロンのコーディネートを通じて各サロンの課題等に寄り添い、新型コロナウイルス感染症の予防対策への理解と周知に協力いただき、サロンの実施内容、開催の方法を提案しながら、めじろん元気アップ体操をはじめとする体操にも取り組みました。

令和4年度サロン別参加者実績

	地区(サロン)名	実施回数	各サロンへの参加状況					平均参加人数
			登録者数	延参加者	65歳以上	60~64歳	その他	
1	千怒区	2	201	89	76	9	4	45
2	千怒区(両家)	9	52	143	134	9	0	16
3	千怒区(4部)	0	25	0	0	0	0	0
4	千怒区(6部)	0	11	0	0	0	0	0
5	千怒区(旭町)	12	86	308	307	1	0	26
6	岩屋区(えびす)	12	15	136	136	0	0	11
7	岩屋区(大友)	2	15	16	16	0	0	8
8	岩屋区(高洲)	1	24	12	12	0	0	12
9	宮本区	9	48	273	255	11	7	30
10	彦ノ内区(原、谷川)	0	39	0	0	0	0	0
11	彦ノ内区(路木)	1	55	7	7	0	0	7
12	彦ノ内区(千久中)	1	38	2	1	0	1	2
13	彦ノ内区(成守、文京)	0	19	0	0	0	0	0
14	中田区(ふれあい)	12	35	316	252	26	38	26
15	中田区(盛人ク)	12	81	175	175	0	0	15
16	西ノ内区	6	45	238	236	2	0	40
17	警固屋区(セメント町)	11	21	171	152	19	0	16
18	警固屋区(港町)	11	13	106	106	0	0	10
19	警固屋区(元町)	11	28	169	169	0	0	15
20	警固屋区(井無田町)	11	21	161	150	0	10	15
21	警固屋区(新町)	11	3	28	28	0	0	3
22	川上区(岡町)	9	43	165	147	18	0	18
23	川上区(志手町)	9	39	150	141	0	9	17
24	川上区(中町)	9	13	101	101	0	0	11
25	川上区(小園町)	8	48	127	127	0	0	16
26	川上区(地蔵町)	7	31	138	137	1	0	20
27	川上区(門前町)	1	36	9	7	2	0	9
28	川上区(桜ヶ瀬町)	5	49	91	90	1	0	18
29	青江区(東)	4	45	107	105	0	2	27
30	青江区(西)	4	29	66	66	0	0	17
31	畑区(畑)	10	27	161	160	1	0	16
32	畑区(岩屋口)	8	18	94	86	2	6	12
33	川内区	0	70	0	0	0	0	0
34	入船区(ふれあい)	8	40	226	219	7	0	28
35	入船区(みつば)	6	51	190	190	0	0	32
36	徳浦区(1)	4	187	311	304	3	4	78
37	徳浦区(2)	12	22	217	217	0	0	18
38	徳浦区(3)	10	18	52	52	0	0	5
39	徳浦区(5)	10	25	136	136	0	0	14

40	堅浦区(ひまわりの会)	3	57	57	57	0	0	19
41	堅浦区(なののはな)	0	32	0	0	0	0	0
42	長目区(浦代)	11	17	83	83	0	0	8
43	長目区(長目)	12	15	134	134	0	0	11
44	長目区(釜戸)	11	24	144	124	18	2	13
45	長目区(伊崎)	0	14	0	0	0	0	0
46	長目区(楠屋)	5	11	51	41	10	0	10
47	無垢島区	2	26	48	44	4	0	24
48	日見区	2	95	73	71	2	0	37
49	福良区	0	53	0	0	0	0	0
50	網代区	3	45	54	54	0	0	18
51	江ノ浦区	2	30	34	33	1	0	17
52	赤崎区	3	25	71	59	9	3	24
53	赤崎区(井戸端会議)	2	24	45	35	8	2	23
54	四浦1区(荒代)	12	18	126	125	0	1	11
55	四浦1区(鳩浦)	4	34	85	74	3	8	21
56	四浦2区(刀自ヶ浦)	0	41	0	0	0	0	0
57	四浦2区(深良津)	0	39	0	0	0	0	0
58	四浦3区(落ノ浦)	0	58	0	0	0	0	0
59	四浦3区(田ノ浦)	4	22	38	34	4	0	10
60	四浦6区(高浜)	8	30	113	99	14	0	14
61	保戸島区	2	57	73	72	0	1	37
	合計	344	2,433	5,920	5,636	185	98	17
	令和3年度実績	260	2,512	4,629	3,923	98	608	18

社協・包括職員サロンへの派遣実績

実施月	回数	派遣先
4月	10	磐田屋区(セメント町)サロン 他
5月	15	四浦1区(荒代)サロン 他
6月	15	長目(長目)サロン 他
7月	13	浦代サロン 他
8月	3	旭きずなサロン 他
9月	9	磐田屋区(井無田新町)サロン 他
10月	14	川上区(小園町)サロン 他
11月	15	千怒区(両家)サロン 他
12月	16	青江区(東西)サロン 他
1月	4	千怒区サロン 他
2月	15	富木区(なかよし)サロン 他
3月	14	川上区(志手町)サロン 他
合計	143	

内容

・体操
・軽スポーツ(ポケットボール、わなげ等)
・DVD上映(綾小路きみまろ、三遊亭歌之助等)
・脳トレプリント
・出前講座
・血圧測定
・訪問
など

令和4年度サポートセンター竹とんぼ事業報告

コロナ禍3年目となった今年度も、年間を通じて、訪問や会議、研修会等あらゆる機会に感染防止対策の徹底が求められましたが、基本的な感染対策にあわせ Web 会議に参加する等を行いながら各種事業を行いました。引き続き津久見市より障がい者相談支援事業の業務を受託し、知的障がい者、身体障がい者、障がい児を中心に相談支援を実施し、適切に福祉サービス等を利用して、地域でその人らしい自立した生活が送れるよう心掛け、支援を行いました。また、同様に市より受託している「障がい者に対する虐待防止対策事業」についても、社会福祉課と連携し、障がいに対する理解促進や障がい者への虐待防止等について、様々な手段で普及・啓発を行いました。

【年間実利用者数（障害区分別）】

()内は前年度からの増減

	身体障がい	重症心身障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	高次脳機能障がい	難病	その他	合計(人)
障がい者	6(-3)	3(+0)	66(-5)	13(+4)	7(+2)	1(+0)	1(+0)	0(-2)	97(-4)
障がい児	2(+2)	1(-1)	13(+1)	0(-1)	1(-1)	0(+0)	0(+0)	4(+0)	21(+0)
計	8(-1)	4(-1)	79(-4)	13(+3)	8(+1)	1(+0)	1(+0)	4(+0)	118(-4)

【活動内容】・・・相談支援専門員による個別対応件数

()内は前年度実績

訪問・同行	来所相談	電話相談等	個別支援会議等	関係機関	その他	合計(人)
253(261)	80(56)	224(273)	153(132)	448(591)	3(1)	1161(1314)

【相談受付】

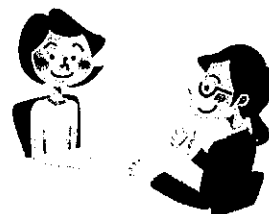
相談区分	R3	R4
福祉サービス利用等に関する支援	953	849
障害や症状の理解に関する支援	10	6
健康・医療に関する支援	142	148
不安の解消・情緒に関する支援	16	12
保育・教育に関する支援	26	39
家族関係・人間関係に関する支援	24	13
家計・経済に関する支援	13	18
生活技術に関する支援	47	30
就労に関する支援	57	50
社会参加・余暇活動に関する支援	0	0
権利擁護に関する支援	6	2
その他	81	44
合計	1375	1211

【サービス等利用計画】

種別	R3	R4
計画作成	83	95
モニタリング	156	150

【虐待に関すること】

区分	R3	R4
相談受付	0	0
普及啓発活動	14	12



【時間外相談対応件数】

(日中8~18時、早朝夜間6~8、18~24時、深夜0~6時)

平日		土・日・祝日			合計	電話相談	現場にて対応	問合せ調整等
早朝夜間	深夜	日中	早朝夜間	深夜				
2	0	7	1	0	10	4	1	5

【会議等】

◇個別支援会議（103件）

障がいのある方に適切な支援が行えるよう、本人や家族・関係機関等に参加していただき、支援内容等について協議を行いました。

◇地域自立支援協議会（14回）

各部会（地域環境・地域生活・児童・就労支援）に参加し、災害時の対応についての検討や個別事例の検討、市内全ての幼稚園や保育所への巡回訪問等に参加しました。

◇その他の会議や研修等（36回）

県障害者相談支援事業推進協議会の研修会や支援学校・就学支援委員会及び調査部会、区分判定審査会等に参加しました。

ふれあいバス旅行（11月6日 参加21名 大分駅周辺散策）



◇コロナ感染者早期発見、感染拡大防止対策

大分県障害福祉課から送付された新型コロナウイルス抗原検査キットを活用し、定期的に検査を行いその状況を毎週県に報告を行いました。（竹とんぼ以外の社協職員も含む。）

実施期間：令和4年11月28日～令和5年3月31日

結果報告：404件（うち陽性17件、竹とんぼ職員は0件）